

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善															
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度	R2年度	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）			
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度		中期 目標	予算額 （千円）		予算額 （千円）	金額 （千円）	職位					人数		
I-1-(1)- ① 仕事と子育ての 両立支援	1	③	③ ④ ⑧ ⑩	放課後児童クラブ の管理運営	子育て 支援課	市民ニーズに応えら れる放課後児童クラブの運 営内容を確保するため、 運営団体に対する研修会 の実施、開設時間の標準 化や延長の推進等によ り、運営体制の充実を図 る。また、障害のある児 童や高学年児童を含め利 用者が増加する中で、児 童への対応を充実するた め、適切な指導員数を配 置するとともに、研修の 充実、指導員相互の交流 や情報交換、障害のある 児童などの対応を支援す るための臨床心理士等の 巡回派遣を行い、指導員 の資質向上を図る。	放課後児童クラブ待 機児童数（4月）	R1年度 0人	目標 0人	実績 0人	達成率 100.0%	0人 (R6年度)	継続	2,438,547	2,429,999	維持	46,775	課長 0.35人	順調	放課後児童クラブの施設整備 や利用内容の充実など、引き続 き運営基盤を強化する。 放課後児童支援員等の資質向 上など、放課後児童クラブの運 営体制の充実を図るとともに、 クラブの活動内容の充実を目指 して、学校や地域との連携を促 進する。	【指標廃止・追加の理由】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」に合わせる ため、待機について児童数から 割合に指標の表示を変更。ま た、運営体制の充実を図るた めに自己評価制を導入すること から指標を追加。				
							放課後児童クラブの 利用を希望する児童 の受け入れ	R1年度 100%	目標 100%	実績 100%	達成率 100%	100% (毎年度)										【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」策定に伴 う時点更新を行い、目標をH25年 度比向上からR1年度比向上に 変更した。			
							放課後児童クラブに 対する満足度（開所 日、開所時間）	R1年度値 を設定 （参考： H30年度 74.0%人）	目標 前年度 (78.8%) 比向上	実績 74.0%	達成率 93.9%	R1年度比 向上 (R6年度)													
							運営内容に関する自 己評価実施クラブ率	R1年度値 を設定	目標 前年度比 向上	実績 前年度比 向上	達成率 前年度比 向上	R1年度比 増加 (R6年度)													
	2	③	③ ④ ⑧	保育所運営事業	保育 課	仕事と子育ての両立支 援を推進するため、保育 を必要とする子どもは誰 でも保育所に入所でき、 多様なニーズに応えなが ら、子どもの健やかな育 成を支援する保育サー ビスの実現を図る。	保育所待機児童数 (4月)	R1年度 0人	目標 0人	実績 0人	達成率 100.0%	0人 (毎年度)	継続	17,371,635	16,261,753	減額	5,800	課長 0.20人		大変 順調	「北九州市子ども・子育て支 援事業計画」に基づき、計画的 に提供していく。また、教育・保 育施設の利用状況や利用者の希 望とともに、幼稚園、保育所事 業者の意向などを踏まえ、幼稚 園と保育所の機能を併せ持つ認 定子ども園への移行支援・普及 に努める。	乳児・幼児期の教育・保育を 「北九州市子ども・子育て支援 事業計画」に基づき、計画的に 提供していく。また、教育・保 育施設の利用状況や利用者の希 望とともに、幼稚園、保育所事 業者の意向などを踏まえ、幼稚 園と保育所の機能を併せ持つ認 定子ども園への移行支援・普及 に努める。			
							保育所待機児童数 (10月)	R1年度 0人	目標 0人	実績 0人	達成率 100.0%	0人 (毎年度)											係長 0.20人		
							保育所待機児童数 (10月)	R1年度 0人	目標 0人	実績 0人	達成率 100.0%	0人 (毎年度)												職員 0.20人	
							保育所待機児童数 (10月)	R1年度 0人	目標 0人	実績 0人	達成率 100.0%	0人 (毎年度)													職員 0.20人
	3	④	③ ④ ⑧	幼稚園・認定こ ども園運営事業	幼稚 園・こ ども園 課	私立幼稚園（新制度対 象）や認定こども園の運 営費を助成する。	保育所待機児童数 (10月)	R1年度 0人	目標 0人	実績 0人	達成率 100.0%	0人 (毎年度)	継続	4,268,514	6,033,152	増額	5,400	課長 0.10人			順調	新制度の幼稚園及び認定こ ども園への移行が増えており、今 後も引き続き新制度に移行する 私立幼稚園及び認定こども園に 対して支援を行っていく。	新制度の幼稚園及び認定こ ども園への移行が増えており、今 後も引き続き新制度に移行する 私立幼稚園及び認定こども園に 対して支援を行っていく。		
							施設型給付へ移行す る私立幼稚園数	R1年度 26箇所	目標 20箇所	実績 20箇所	達成率 100.0%	希望園の 全てが 移行 (R6年度)												係長 0.20人	
							施設型給付へ移行す る私立幼稚園数	R1年度 26箇所	目標 20箇所	実績 20箇所	達成率 100.0%	希望園の 全てが 移行 (R6年度)													職員 0.30人
							施設型給付へ移行す る私立幼稚園数	R1年度 26箇所	目標 20箇所	実績 20箇所	達成率 100.0%	希望園の 全てが 移行 (R6年度)													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H30年度 事業評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)		
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
I-1-(1)- ② 年間を通じた待機児童解消策の推進など保育の充実	4	③	④ ⑧	一時預かり事業	幼稚園・こども園課	「子ども・子育て支援新制度」により実施する一時預かり事業において、保護者のニーズに応じて教育時間の終了後に預かり保育を実施する私立幼稚園を支援する。	事業を実施する施設数 ※中期目標改訂	53箇所 (R1年度)	目標 62 箇所	78 箇所	58 箇所	60箇所 (R6年度)	継続	257,000	214,000	減額	4,650	課長	0.10 人	順調	「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、実施施設数の増加を見込んでおり、引き続き預かり保育による保育サービスの充実を図る。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン」第2次計画策定時は、新制度開始前であり、ほぼ全ての施設が新制度に移行し、一時預かり事業を実施すると想定していたが、想定より移行する施設が少なかったため、第3次計画で、現状の施設数に合わせて計画を見直し、78箇所（R1年度）から60箇所（R6年度）に変更した。	順調	「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育の量の確保に努めていく。 保育士等の人材確保に取り組むとともに、教育・保育の質の向上を図るため、体系的な研修等を通じて幼稚園教諭、保育士等の専門性の向上に取り組む。 子どもの生活リズムに十分配慮しながら、幼稚園における預かり保育や保育所における延長保育、休日保育など、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図る。	
						実績	48 箇所				係長							0.20 人						
						達成率	77.4 %				職員							0.20 人						
5	③	④ ⑧	特別保育事業補助	保育課	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図る。また、保護者のパート就労や育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図る。さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、集団保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図る。	午後8時まで延長保育を実施する保育所の施設数 ※中期目標改訂	R1年度値を設定 (参考：H30年度2箇所)	目標 2 箇所	3 箇所	2 箇所	R1年度水準を維持 (R6年度)	継続	728,926	725,575	維持	3,650	課長	0.10 人	順調	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を継続する。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3次計画）【R2～6】」における「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき見直しを行い、午後8時まで延長保育を実施する施設数（3箇所【R1年度】）、午後7時まで延長保育を実施する施設数（158箇所【R1年度】）及び一時保育事業の実施施設数（86箇所【R1年度】）については、人口の増減により、延べ利用児童数が増減するとの考え方から、中期目標をR1年度水準を維持に変更。				
					実績	2 箇所				係長	0.10 人													
					達成率	100.0 %				職員	0.20 人													
					目標	156 箇所	158 箇所	153 箇所	R1年度水準を維持 (R6年度)	継続	728,926						725,575	維持				3,650	係長	0.10 人
					実績	154 箇所																		
					達成率	98.7 %																		
目標	84 箇所	86 箇所	82 箇所	R1年度水準を維持 (R6年度)	継続	728,926	725,575	維持	3,650	職員	0.20 人													
実績	83 箇所																							
達成率	98.8 %																							
6	③	④ ⑧	病児保育事業	保育課	保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭など、やむをえない事由により家庭での保育が困難な病児中、病児回復期にある児童を医療機関併設型の施設において保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	病児保育施設利用者数 ※中期目標改訂	R1年度値を設定 (参考：H30年度8,907人)	目標 前年度 (8,499人) 比増	前年度比増	前年度比増	R1年度比増 (R6年度)	継続	180,480	179,646	維持	2,900	課長	0.10 人	順調	元気発進！子どもプラン（第3次計画）に基づき、病児保育事業を推進するため、引き続き新規施設の設置や既存施設への支援を実施する。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3次計画）【R2～6】」策定に伴い、中期目標を前年度比増（R1年度）からR1年度比増（R6年度）に変更した。				
					実績	8,907 人			係長	0.10 人														
					達成率	104.8 %			職員	0.10 人														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する 主要な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
7	③	④	⑧	保育サービスコン シェルジュ事業	保育 課	保育所、幼稚園や地域 の子育て支援の事業等の 利用について、情報の収 集と提供を行うとともに、 利用にあたり、子ども や保護者からの相談に 応じるため、各区役所及 び「ウーマンワークカ フェ」に保育サービスコ ンシェルジュを配置す る。	保育所待機児童数 (4月)	0人 (R1年度)	目標	0人	0人	0人	0人 (毎年度)	継続	32,664	33,200	維持	2,900	課長	0.10人	大変 順調	保育の利用を希望するそれぞ れの世帯の状況やニーズに合っ た保育サービスの情報提供を行 うため、引き続き、全区で11名 を配置し、待機児童対策に取り 組む。
								実績	0人											係長		
							保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年度)	目標	0人	0人	0人						職員	0.10人			
8	③	④	⑧	保育士等の確保	幼 稚 園 ・ こ ど も 園 課 保 育 課	待機児童の解消を図る ため、下記の事業により 保育士等の人材確保に取り 組む。 ・保育士就職支援事業 (保育士資格取得見込の 学生等を対象とした就職 説明会・保育士の資格等 を持っている、現在、保 育士の職に就いていない 人を対象とした研修) ・保育士・保育所支援セ ンター事業等(保育士の 就職支援や相談等による 離職防止) ・幼稚園教諭免許状を有 する者の保育士資格取得 支援等事業(幼稚園教諭 の保育士資格取得支援や 幼稚園への就職支援等) ・予備保育士雇用費補助 事業(年度当初に配置基 準を超えて雇用した保育 士の人件費の一部を補 助) ・保育士宿舍借り上げ支 援事業(市内保育所・認 定こども園を運営する法 人が保育士の宿舍を借り 上げるための費用の一部 を助成)	保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年度)	目標	0人	0人	0人	0人 (毎年度)	継続	127,642	158,598	増額	15,100	課長	0.40人	順調	今後も関係機関との連携を図 ると共に、情報発信に努め、保 育士や保育士資格取得見込者の 保育所等への就職支援の充実を 図る。また、研修内容を充実さ せると共に受講者の拡大を図る ため、さらにPR活動を行い、保 育士確保に取り組む。 令和元年度より開始した保育 士宿舍借り上げ支援事業を継続 実施することで保育士の雇用確 保を図る。
								実績	0人											係長		
								達成率	100.0%									職員	0.60人			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)			
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
I-1-(1)-③ 母子が健康に生活できる環境づくり	9	③	③	母子健康診査	子育て支援課	妊婦や乳幼児の疾病または異常の発見および防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の定期的な健診の機会を提供する。 (妊婦健康診査、B型肝炎母子感染防止事業、先天性代謝異常等検査、乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査)	妊婦11週までの妊娠届出者の割合	93.4% (H25年度)	目標 前年度 (91.7%) 比増加	前年度比増加		H25年度比増加 (R1年度)	継続	887,500	909,514	維持	3,615	課長	0.01	順調	R2年度に向けて強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等) 母子保健情報の利活用の推進に向けて、健診項目を見直し、妊婦健康診査、乳幼児健康診査を継続して実施し、妊婦や乳幼児の健康の保持増進を図る。 【指標廃止・追加の理由】 妊婦11週までの妊娠届出者の割合を妊婦健診や3歳児健診の受診率に指標変更することで、妊婦や乳幼児の疾病または異常の発見及び防止、健康の保持増進を図れているかの成果をより明確に測るため。	順調	今後も、関係機関とうまく連携し、妊娠や乳幼児の疾病または異常の早期発見・早期支援に取り組み、子育ての孤立化や育児不安の解消に努めていく。様々な機会を通じ、育児に関する相談など、専門的な支援や情報提供を行い、母子の健康づくりに寄与していく。		
							※「現状値」及び「中期目標」は「元気発進！子どもプラン(第2次計画)【H27～R1年度】」掲載内容 ※指標廃止	実績 91.2 %	達成率 99.5 %		前年度水準を維持							R1年度水準を維持 (R6年度)	係長					0.05	人
							妊婦健康診受診率	R1年度値を設定 (参考: H30年度 97.4%)	目標									前年度水準を維持	R1年度水準を維持 (R6年度)					職員	0.40
						3歳児健診受診率	R1年度値を設定 (参考: H30年度 93.2%)	目標			前年度水準を維持	R1年度水準を維持 (R6年度)													
10	③	③	③	子ども医療費支給事業	子育て支援課	子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療に係る医療費の自己負担額を助成する。	医療費支給制度の維持	—	目標 維持	維持	維持	維持	継続	2,739,457	2,850,100	維持	12,300	課長	0.20	順調	子育てに関する経済的な負担を軽減し、子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療に係る医療費助成を継続して実施する。				
								実績 維持	—								係長	0.40							
								達成率 —									職員	0.80							
11	③	③	③	すくすく子育て支援事業	子育て支援課	母子健康手帳の交付、妊産婦乳幼児なんでも相談、母親学級、両親学級、育児学級等の母子保健教室、乳幼児発達相談指導「わいわい子育て相談」、乳幼児健診未受診者フォロー事業(児童虐待予防事業)、その他母子保健に関する事業を実施する。	妊婦11週までの妊娠届出者の割合	93.4% (H25年度)	目標 前年度 (91.7%) 比増加	前年度比増加		H25年度比増加 (R1年度)	継続	24,600	24,988	維持	6,150	課長	0.10	順調	R2年度に向けて強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等) 育児の孤立化を防ぐため、引き続き妊娠・出産・育児における保健事業を実施する。 【指標廃止・追加の理由】 妊娠届出11週までの妊娠届出者の割合よりも市民に身近な場所で実施している、なんでも相談の実施率のほうが施策の成果をより計れるため。	順調			
							※「現状値」及び「中期目標」は「元気発進！子どもプラン(第2次計画)【H27～R1年度】」掲載内容 ※指標廃止	実績 91.2 %	達成率 99.5 %		前年度水準を維持							R1年度水準を維持 (R6年度)	係長					0.20	人
							なんでも相談の実施率	R1年度値を設定 (参考: H30年度 100%)	目標									前年度水準を維持	R1年度水準を維持 (R6年度)					職員	0.40

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
12	③	③	③	のびのび赤ちゃん 訪問事業	子育て支援課	子育ての孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問することで、子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな不安や悩みを聞き、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービス提供に結びつける。また、うつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いて、支援する。 生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の達成率 ※中期目標改訂	R1年度値を設定（参考：H30年度95.1%）	目標	前年度 (95.5%) 比増加	前年度比 増加	前年度水 準を維持	R1年度 水準を 維持 (R6年度)	継続	47,172	48,068	維持	4,115	課長	0.01	順調	子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、引き続き関係機関と連携し、より効果的な事業の推進を図る。 【中期目標の変更内容】 一定の達成率となったため、「H25年度（88.9%）比増加」から変更し、「R1年度水準を維持」を目標とする。		
								実績	95.1 %										係長				
13	③	③	③	妊娠・出産・養育 にかかる相談・支 援事業	子育て支援課	若年の妊婦や産後うつなど、養育支援を必要とする家庭に対し、訪問指導員を派遣し、家事を支援するとともに、思いがけない妊娠等に悩む女性に対する電話相談等を実施する。 子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者） ※「現状値」及び「中期目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～R1年度】」掲載内容 ※指標廃止	44.7% (H25年度)	目標	前年度 (34.8%) 比減少	前年度比 減少		H25年度 比減少 (R1年度)	拡大	7,664	57,263	増額	990	課長	0.01	順調	引き続き、思いがけない妊娠や不妊、不育症などの専門相談と、養育支援が必要な方へのヘルパー派遣、こんにちは赤ちゃん！小児科訪問（ペリネイタルビジット）事業を実施する。加えて、令和2年度からは、出産直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートを行う産後ケアを実施し、安心して子育てができる支援体制を構築するとともに、産後うつを早期に発見するため、産後健康診査等への支援を行うなど産後ケア体制の充実（産婦への心理的ケアや保健指導、健康診査費用の助成、多胎児に関する育児支援）を図り、産前、産後支援について一体的に取り組んでいく。 【指標廃止・追加の理由】 養育支援が必要な家庭が、困ったときに養育ヘルパーが利用できる環境が整えられていることが重要であるため。		
								実績	33.9 %										係長				
						養育支援ヘルパー実施 ※指標追加	実施 (R1年度)	目標			継続実施	継続 実施 (R6年度)	拡大	7,664	57,263	増額	990	職員	0.05				
							実績																

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
I-1-(1)- ④ 子育ての 不安や悩 みを軽減 する環境 づくり	14	③	③	子育てに関する情 報提供の充実	総務 企画 課	子育て中の方が、子 どもの成長に合わせた情報を タイムリーかつ手軽に 入手できるよう、情報誌 の内容や、情報提供方法 の充実を図り、必要とす る市民に子育ての情報を 的確に届ける。 また、本市が取り組ん でいる子どもの健全育成 や子育て支援についての 成果や課題、データを盛 り込んだ「子ども家庭レ ポート」を発行し、市民 や地域の担い手に周知す ることで、地域全体で子 育てを支援する環境づく りの一助とする。	「こそだて情報」及 び「子ども家庭レ ポート」による情報 提供の実施	目標	発行	発行	発行	発行 (R1年度)	継続	5,055	5,055	維持	6,150	課長	0.10	人	順調	子育て中の方が、子 どもの成長に 応じた情報をタイムリー に、かつ気軽に入手でき るよう、情報誌の内容の充 実を図る。	
							実績	発行				発行の 継続 (毎年度)				係長	0.20	人					
							達成率	—								職員	0.40	人					
	15	③	③ ⑪ ⑰	親子ふれあいルー ム運営事業	子育て 支援課	乳幼児を持つ保護者の 子育てへの不安を軽減 し、親子が気軽に集い、 交流、情報交換、育児相 談等ができるスペースを 区役所や児童館などで運 営する。	親子ふれあいルーム 利用者数(乳幼児数) ※中期目標改訂	目標	H25年度 (41,910 人) 比増加	H25年度 比増加	R1年度 比増加	R1年度値 を設定 (参考: H30年度 37,369 人)	継続	37,041	37,202	維持	7,275	課長	0.10	人	順調	親子ふれあいルームの利用者 へのサービス向上・利用促進の ため、対応可能な区について親 子ふれあいルームの土曜日開所 を検討・実施する。また、乳幼 児を持つ保護者の子育てへの不 安の軽減に寄与するため、更なる 運営の質の向上を図る。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」策定に伴 い、目標数を44,489人（R1年 度）からR1年度比増加に変更し た。	身近な地域における子育てを 支えるネットワークづくりなど、 地域社会全体で子育てを支援 する環境づくりを進める。 親子ふれあいルームや子ど も・家庭相談コーナーの相談員 等の資質向上を図るなど、子育 てに悩みや不安を持つ保護者 が、分かりやすく利用しやすい 相談体制の維持に努める。 子育て中の方が知りたい情報 をタイムリーに手軽に入手でき るよう、情報誌やホームページ などを活用した情報提供を行 う。
					実績	37,369					R1年度比 増加 (R6年度)				係長	0.35	人						
						達成率	89.2	%								職員	0.35	人					
	16	③	③ ⑱	子ども・家庭相談 コーナー運営事業	子育て 支援課	各区役所に「子ども・ 家庭相談コーナー」を設 置し、子どもと家庭に関 するあらゆる相談をひと つの窓口で受け、ひとり 親家庭の自立支援、DV被 害者対応、児童虐待等、 それぞれの相談に応じた 支援・対応を行うとともに、 必要に応じて他の機 関のサービス・支援へと つなげる。	子育ての悩みや不安 を感じる人の割合 (就学前児童の保護 者) ※中期目標改訂	目標	前年度 (34.8%) 比減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度値 を設定 (参考: H30年度 33.9%)	継続	98,769	100,123	維持	6,075	課長	0.05	人	順調	子どもに関する相談は増加傾 向（H29:30,979件→H30:31,276 件）にあるため令和元年度から増 員した相談員について、令和2年 度も引き続き配置し、子育ての 負担を感じる方への迅速かつ適 切な支援を図る。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」策定に伴 う時点更新を行い、H25年度比減少 をR1年度比減少に変更した。	
						実績	33.9	%				R1年度比 減少 (R6年度)				係長	0.10	人					
								達成率	102.6	%							職員	0.60	人				
	17	③	③	子育て支援総合 コーディネーター 事業	保育 課	「子育て支援サロン “びあちえーれ”」に子 育て支援総合コーデ ィネーターを配置し、面 接、電話やメールによる 子育てに関する相談の対 応を行い、必要な関係機 関との連携、調整等の支 援を行う。 また、大学教授や小児 科医、保育経験者等を講 師に招き、子どもの発達 や食育、遊び等をテーマ とした育児講座の開催や 絵本の貸出を行い、子育 て支援の充実を図る。	子育ての悩みや不安 を感じる人の割合 (就学前児童の保護 者) ※中期目標改訂	目標	前年度 (34.8%) 比減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度値 を設定 (参考: H30年度 33.9%)	継続	13,736	14,299	維持	4,150	課長	0.10	人	順調	子育て相談体制を整備し、関 係機関との連携もさらに深めて 情報収集を行いながら、子育て 支援の充実を図る。今後も子育 て世代のニーズを把握して育児 講座を開催する。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」策定に伴 う時点更新を行い、H25年度比減少 をR1年度比減少に変更した。	
						実績	33.9	%				R1年度比 減少 (R6年度)				係長	0.30	人					
								達成率	102.6	%							職員	0.00	人				
								目標	前年度 (40.0%) 比減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度値 を設定 (参考: H30年度 43.1%)											
								実績	43.1	%		R1年度比 減少 (R6年度)											
								達成率	92.3	%													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善															
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H30年度 事業評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)			
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
I-1-(1)-⑤ 特別な支援を要する子育て家庭への対応	18	③	⑩	母子・父子福祉センター運営事業	子育て支援課	「母子・父子福祉センター」において、ひとり親家庭や寡婦の生活上の悩みや相談を受けたり、仕事のために必要な知識や技能を身につけるための講座等を無料で実施する。その他各種研修会や催し等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定、福祉の向上を目指す。	母子・父子福祉センターの延べ利用者数 ※中期目標改訂	R1年度値を設定 (参考：H30年度10,840人)	目標 前年度(10,520人)比増加	実績 10,840人	達成率 103.0%	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	R1年度比増加 (R6年度)	継続	40,993	41,143	維持	1,480	課長 0.02人 係長 0.05人 職員 0.10人	順調	引き続き、就業支援講習会やキャリアカウンセラーによる自立支援プログラム策定などの就業支援に取り組むとともに、様々な機会を通じて母子・父子福祉センターをPRし認知度を上げるよう努める。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3次計画）【R2～6】」策定に伴う時点更新を行い、目標をH25年度比からR1年度比増加に変更した。	順調	ひとり親家庭に対しては、自立に必要な制度や事業を確実に活用できるよう、情報提供を充実するとともに、引き続き総合的な支援を行っていく。 家庭的養護を推進するための地域小規模児童養護施設の設置を進めるなど、子どもにあった養育環境の充実に取り組むとともに、子どもたちへの支援をさらに充実するため、職員の資質の向上等を図る。また、就職・進学に際し、児童が希望する進路を選択できるよう、自立に向けた支援を行う。 平成31年4月施行の「北九州市子どもを虐待から守る条例」に基づき、児童虐待の未然防止に取り組む。また、児童虐待が深刻化する前に早期発見・早期対応に取り組み、子どもの安全を守るための一時保護や被虐待児のケア、家族再統合に向けた保護者への支援等を行うことで児童虐待の防止に努めるほか、子どもの心のケアに重点を置いた取り組みを強化する。 民間を主体とした「子ども食堂」の活動をさらに広げるため、市民や地域・企業等に理解と参加を促し、支援の輪を広げていく。
	19	③	⑩	児童養護施設等措置費	子育て支援課	児童養護施設・乳児院・児童心理治療施設・児童自立支援施設・自立援助ホーム・ファミリーホーム・里親において、保護を要する児童に係る必要な経費を負担し、社会的養護が必要な子どもが、それぞれの子どもにあった生活環境で、健やかに生まれ、自立できる社会環境づくりを推進する。	地域小規模児童養護施設・小規模グループケアの実施箇所数 ※指標廃止	R1年度値を設定 (参考：H25年度11箇所)	目標 前年度(16箇所)比増加	実績 24箇所	達成率 150.0%	23箇所	23箇所	23箇所 (R1年度)	拡大	2,398,600	2,449,646	維持	12,825	課長 0.30人 係長 0.30人 職員 0.85人	大変順調	児童養護施設の機能強化や家庭的養護推進のため、地域小規模児童養護施設の増設、措置費加算の増額を行う。 【指標廃止・追加の理由】 国の示す新しい社会的養育ビジョンにおいて、小規模グループケアは小規模かつ地域分散化の原則の対象外となったため、小規模グループケアを除き、地域小規模児童養護施設の実施箇所数のみ対象とするように変更した。			
	20	③	⑩	<新>児童養護施設等の体制強化事業	子育て支援課	児童養護施設の職員の専門性や倫理意識の向上を図る研修の実施や入所児童の権利擁護（アドボカシー）の推進等を図る。	意見の聞き取りをした入所児童数（延べ人数）	R2年度値を設定	目標 前年度比増加	実績 840人	達成率	840人	840人	R2年度比増加 (R6年度)	—	—	7,000	—	1,480	課長 0.02人 係長 0.05人 職員 0.10人	—	施設職員の人材育成・研修の実施、子どもの権利擁護を推進する等、入所児童が安心・安全に生活できる環境整備を図る。			
	21	③	④	親子通園事業	保育課	幼児期の子どもの発達や育児に関して、不安や孤独感を抱えている保護者にとっては、思いを共有し、気兼ねなく安心して親子で過ごせる場所を提供する等、伴走型の支援が必要である。あそびや体験等を通じて、子育ての楽しさや成長の喜びを保護者が感じられるよう保育所で継続した支援を行い、適切な施設への移行等の相談に対応する。	利用者の満足度	R1年度値を設定 (参考：H30年度100%)	目標 100%	実績 100%	達成率 100.0%	100%	100%	100%	100% (R6年度)	継続	3,569	3,330	減額	4,650	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.20人	順調	親子通園実施3施設の状況について検証していきながら、関係機関との連携を密にし、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対して、継続した支援を行う。活発にPR活動を行い、地域の実情に合わせ、支援を必要としている親子への情報周知を図る。 実績額に応じた予算額の見直しを行い、昨年比減額となった。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主要事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R1年度	R2年度	事業費 の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	
							予算額 (千円)	予算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数		指標名等	現状値 (基準値)		H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標
22	⑬	⑬	⑬	児童虐待防止 (子ども的人権擁護) 推進事業	子ども総合センター	児童虐待の早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護を行うため、関係機関との連携強化を図り、児童虐待の防止等のために必要な体制を整備するとともに、関係機関等の職員の研修を行う。	児童虐待対応件数 ※「現状値」及び「中期目標」は「元気発進!子どもプラン(第2次計画)【H27~R1年度】」掲載内容 ※指標廃止	目標	前年度(1,139件)比減少	前年度比減少							課長	1.00 人	順調	児童虐待対応件数の増加に対応するため、関係機関等との連携をさらに強化するとともに、NPO法人等への業務委託により、児童虐待の未然の防止と早期発見、迅速かつ適切な保護を図る。また、虐待を受けた子どもの心のケアや、児童虐待の再発防止対策を引き続き強化する。			
						実績	1,487 件			H25年度比減少(R1年度)													
22	⑬	⑬	⑬	児童虐待防止 (子ども的人権擁護) 推進事業	子ども総合センター	児童虐待による死亡事案の発生件数 ※指標追加	目標				0 件							係長	2.00 人	順調	【指標廃止・追加の理由】 本市では、子どもの命を守るために、これまで児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応に努めてきたところであるが、全国的に子どもの命を脅かすような重篤な事案が頻りに報道されている中で、児童虐待による死亡事案を発生させないという本来的な目標を明示することが必要と考え、指標を変更。		
							実績																
23	⑭	⑭	⑭	子ども食堂開設支援事業	子育て支援課	さらなる「子ども食堂」の普及促進を目指すため、コーディネーターの配置や開設補助など、民間を主体とした「子ども食堂」の活動を支援する。	市内子ども食堂の実施箇所数 (民間) ※中期目標改訂	目標	H28年度(5箇所)比増加	H28年度比増加	R1年度比増加							課長	0.01 人	大変順調	子どもの孤食の解消だけではなく、高齢者の「やりがい・生きがい」の創出及び学生のコミュニケーション能力や地域力の向上につなげ、多くの方々に子ども食堂の活動への理解と参加を促すため、フォーラムの開催や、開設のニーズを確実にとらえるため、出前講演などの機会を増やすよう努める。		
						実績	23 箇所			R1年度比増加(R6年度)													
23	⑭	⑭	⑭	子ども食堂開設支援事業	子育て支援課	さらなる「子ども食堂」の普及促進を目指すため、コーディネーターの配置や開設補助など、民間を主体とした「子ども食堂」の活動を支援する。	市内子ども食堂の実施箇所数 (民間) ※中期目標改訂	達成率										職員	0.20 人	大変順調	【中期目標の変更内容】 「元気発進!子どもプラン(第3次計画)【R2~6】」策定に伴う時点更新を行い、目標をH28年度比増からR1年度比増加に変更した。		
								達成率	383.3 %														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)			
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
I-1-(1)- ⑥ 地域などと行政の連携・協働による子育て支援の推進	24	③	③ ⑱	ほっと子育てふれあい事業	子育て支援課	仕事の都合や子どもの軽い病気の時に、ボランティア組織「ほっと子育てふれあいセンター」の会員間で子どもの預かりや送迎など、子育て支援サービスの充実を図る。	相互援助活動件数 ※中期目標改訂	R1年度値を設定 (参考: H30年度 7,520件)	目標 前年度 (13,913 件) 比増加	実績 7,520 件	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)	継続	14,642	14,500	維持	1,865	課長 0.01 人	係長 0.10 人	職員 0.10 人	順調	平成30年度から、国の方針により活動件数の集計方法が変更されたため、件数は減少となっているが、実質的には同程度の活動件数を維持している。会員との信頼関係の確立や地域における子育て支援ネットワークづくりを更に進めるため、令和2年度から複数年委託(3年)契約を実施。 【中期目標の変更内容】 「元気発進!子どもプラン(第3次計画)【R2~6】」策定に伴う時点更新を行い、目標をH25年度比増加からR1年度比増加に変更した。	順調	
	25	③	③ ⑱	みんなの子育て・親育ち支援事業	子育て支援課	乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。	市内で活動する育児サークル等の団体数 ※中期目標改訂	R1年度値を設定 (参考: H30年度 426団体)	目標 前年度 (413団体) 比増加	実績 426 団体	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)	継続	5,504	5,531	維持	6,400	課長 0.10 人	係長 0.30 人	職員 0.30 人	順調	申請のあった子育てに関わる団体全てに補助金を交付できている。 市内で活動する育児サークル等の団体数は増加傾向(H29:413→H30:426)であり、親同士の交流や子どもの遊び・体験活動、地域における交流、子育てについての勉強会など、自主的な活動が広まっている。今後も継続支援を実施する。 【中期目標の変更内容】 「元気発進!子どもプラン(第3次計画)【R2~6】」策定に伴う時点更新を行い、目標をH25年度比増加からR1年度比増加に変更した。	順調	身近な地域における子育てを支えるネットワークづくりやお互いの助け合い、民間事業者との連携など、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進める。また、子育て家庭のそれぞれの状況に応じて、必要な支援を届けることのできる環境づくりを進める。
	26	③	③ ⑱	赤ちゃんの駅登録事業	総務企画課	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを行う。	「赤ちゃんの駅」登録施設数 ※中期目標改訂	R1年度値を設定 (参考: H30年度 447施設)	目標 440 施設	実績 447 施設	440 施設	450 施設	490施設 (R6年度)	継続	1,308	1,305	維持	4,400	課長 0.10 人	係長 0.10 人	職員 0.30 人	順調	登録施設の新規開拓に取り組むとともに、「赤ちゃんの駅」の認知度向上や利用促進にむけたPR活動を行い、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを引き続き進める。 【中期目標の変更内容】 「元気発進!子どもプラン(第3次計画)【R2~6】」策定に伴い、目標を400施設(R1年度)から490施設(R6年度)に変更した。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
I-1-(2)- ① 幼児教育 の充実	27	④	③ ④ ⑧	幼児教育の振興・ 子育て支援機能の 充実	幼稚園・ こども園 課	本市の幼児教育の振興 と子育て支援機能の強化 を図るため、私立幼稚園 での幼児教育環境の整備 （施設の設備や備品・教 材等の購入など）や預か り保育、子育て相談、体 験保育などの子育て支援 機能の充実に対する助成 を行う。 ※中期目標改訂	幼稚園に対する満足 度 （教育・保育の内 容）	R1年度値 を設定 （参考： H30年度 93.3%）	目標 前年度 (91.4%) 比向上	前年度比 向上	前年度比 向上	R1年度比 向上 (R6年度)	継続	337,076	354,870	増額	6,190	課長 0.06 人	順調	幼児教育環境の充実、幼稚園 教諭処遇改善、子育て支援機能 の充実のための助成を継続す る。 特別な教育的支援を必要とす る幼児の就園先の確保のための 助成も継続する。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」策定に伴 い、目標をH25年度比増加からR1 年度比向上に変更した。	順調	幼児教育充実のため、引き続 き、教育環境の整備などに取り 組むとともに、保育所、幼稚園 等と小学校間が連携し、保育 所・幼稚園等から、小学校への 円滑な接続を図る。 特別な支援が必要な子どもへ の対応の充実にも引き続き取り 組む。
	28	④	④ ⑩	保育所、幼稚園、 小学校の連携	幼稚園・ こども園 課	保育所、幼稚園の保育 環境から小学校の学習環 境への円滑な接続を図る ため、公私、保幼小の代 表者で構成する「保幼小 連携推進連絡協議会」を 設置し、年2回協議を行 う。また、保幼小連携担 当者を対象に研修会を実 施する。 ※中期目標改訂	保幼小連携事業を実 施する保育所、幼稚 園、小学校の割合	R1年度値 を設定 （参考： H30年度 98.5%）	目標 97 %	98 %	98.5 %	98.5% (R6年度)	継続	1,036	1,036	維持	7,825	課長 0.05 人				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善															
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)						
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数					
I-1-(4)- ① 青少年の 健全育 成・非行 を生まな い地域づ くり	29	④	④ ⑧	青少年ボランティア アステーション推 進事業	青少年課	社会の構成員としての 規範意識や他者への思い やり等の豊かな人間性を 育むとともに、社会性や 協調性等を身に付けるこ とができるよう、青少年 が行うボランティア活動 を支援・促進する。	青少年ボラン ティアステ ーションに おけるボ ランティ ア体験活 動者数 ※中期目 標改訂	目標	前年度 (5,387人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)	継続	1,878	1,533	減額	11,150	課長	0.10	人	順調	平成30年度は、年間7,000人を 超えるボランティア参加者があ り、平成29年度に比べ1,600人 以上増加した。そのため、今後 もより多くのボランティア受け 入れ先を開拓し、豊富な体験活 動のプログラムの開発・提供を 進めていく。 若者の状況に応じて、適切な 時期に的確な支援機関につな がられるよう、関係機関との連 携をさらに強化していく。 事業費については、予算計上 方法の見直しに伴い、昨年比減 となった。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」策定に伴 う時点更新を行い、目標をH25年 度比増加からR1年度比増加に 変更した。	順調	次代を担う青少年が社会との 関わりを自覚し、自己を確立・ 向上していけるよう、引き続 き、ボランティア活動を通じた 豊富な体験活動プログラムの提 供と活動支援を進めていく。 若者の状況に応じて、適切な 時期に的確な支援機関につな がられるよう、関係機関との連 携をさらに強化していく。 青少年を有害環境から守るた め、企業・青少年団体・地域等 と連携し、有害環境の浄化とと もに、非行防止に取り組む。 警察や薬剤師会、地域団体等 と連携し、薬物乱用の撲滅機運 を高めるための取り組みを推進 する。 また、協力雇用主や保護司と 連携し、非行少年の立ち直り支 援を進める。				
								実績	7,116	人																係長	1.00	人
								達成率	132.1	%																職員	0.00	人
30	④	④ ⑧	「ユースステ ーション」運営費	青少年課	中学生・高校生を中心 とした若者の活動拠点と なり、社会参加準備のため のさまざまな活動を体験 することができる施設 として「ユースステ ーション」の運営を行う。	ユースステ ーション の利用者数 ※中期目 標改訂	目標	前年度 (71,518 人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)	継続	46,170	46,789	維持	2,900	課長	0.10	人	順調	引き続き、将来を担う中・高 校生をはじめとする若者が、学 習や体験、スポーツ・音楽活 動、仲間との交流などを通じて 「自己を発見し、社会性や自立 性を身につける場」として運営 を行う。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」策定に伴 う時点更新を行い、目標をH25年 度比増加からR1年度比増加に 変更した。							
							実績	72,160	人															係長	0.10	人		
							達成率	100.9	%															職員	0.10	人		
31	④	④ ⑧ ⑪	子ども・若者応援 センター「YELL」 の運営	青少年課	不安定な雇用やニート (若年無業者)、不登校 やひきこもり等、雇用情 勢の悪化や経済的格差の 拡大、家族や周囲との円 滑なコミュニケーション の欠如などにより、将来 を見通せない不安の中 で、社会生活を円滑に営 む上で困難を抱えている 子ども・若者が増加して いる。 そのため、困難を抱え る子どもや若者を総合的 にサポート（コーディネ ット）していく総合相 談窓口『子ども・若者 応援センター「YELL」』に おいて、自立を支援す る。	「YELL」来所相談者 の就業等実績（累計 数） ※中期目 標改訂	目標	450	人	500	人	550	750人 (R6年度)	継続	24,033	24,035	維持	3,775	課長	0.10	人	順調	相談者の状況に応じて、適切 な時期に的確な支援機関につ なぎ、相談者がより一層円滑に 支援が受けられるようにする。 自立度に合わせた体験プロ グラムの充実が課題であり、内 容の見直しのほか、連携先の開 拓、新規メニューの開発など、 関係機関ともさらに連携して研 究に取り組む。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」策定に伴 い、目標を500人（R1年度）か ら750人（R6年度）に変更した。					
							実績	437	人											係長					0.15	人		
							達成率	97.1	%											職員					0.15	人		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度	R2年度	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）		
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度		中期 目標	予算額 （千円）		予算額 （千円）	金額 （千円）	職位	人数		事業 評価		局施策 評価	
32	④	④ ⑪ ⑰		「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「Ⅰ非行防止対策」 「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」 「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」 「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計） ※中期目標改訂	R1年度値を設定 （参考：H30年度3.8人）	目標 前年（5.4人）比減少	実績 3.8 人	前年比減少 前年比減少	前年比減少	中期目標 R1年度比減少（R6年度）	継続	35,837	33,984	減額	27,450	課長	1.30 人	順調	青少年を取り巻く環境が複雑化・深刻化する一方で、地域の繋がりが希薄になり、地域活動や青少年の非行防止に取り組む方々の高齢化や減少が危惧される。 よって、今後の事業の実施には、関係機関・団体等とより一層の連携を図り、事業の効率化を進める必要がある。 「はいかい防止声かけネットワーク」の取り組みを強化し、より一層、市民に根ざした活動としていく。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3次計画）【R2～6】」策定に伴う時点更新を行い、非行者率の目標（7.0人【R1年度】）をR1年度比減少に、登録業者数の目標（H25年度比増加）をR1年度比増加に変更した。	局施策評価	R2年度に向けて強化・見直した内容（評価に対する改善方法等）
						北九州市協力雇用主登録業者数 ※中期目標改訂	R1年度値を設定 （参考：H30年度234社）	目標 前年度（208社）比同水準	実績 234 社	前年度比同水準 前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	中期目標 R1年度比増加（R6年度）					係長	0.50 人					
									目標 前年（5.4人）比減少										職員	1.00 人				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)		
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
I-1-(4)- ③ 若者の自 立支援	33	④	④ ⑧	若者のための応援 環境づくり推進事 業	青少年 課	不安定な雇用やニート (若年無業者)、不登校 やひきこもり等、雇用情 勢の悪化や経済的格差の 拡大、家族や周囲との円 滑なコミュニケーション の欠如などにより、将来 を見通せない不安の中 で、社会生活を円滑に営 む上で困難を抱えている 子ども・若者が増加して いる。そこで、若者のた めの応援環境づくりを推 進する。	子ども・若者応援セ ンター「YELL」の相 談件数 ※中期目標改訂	R1年度値 を設定 (参考: H30年度 2,561件)	目標	前年度 (2,897件) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)	継続	2,182	2,299	増額	5,525	課長	0.10	順調	北九州市若者応援サイト 「YELL」の内容充実に努める。 「北九州市子ども・若者支援 地域協議会」の着実な運営、ま た、「ユースアドバイザー養成 講習会」の内容の充実を図り、 若者の応援環境づくりを推進す る。 【中期目標の変更内容】 「元気発進!子どもプラン(第3 次計画)【R2~6】」策定に伴う 時点更新を行い、目標をH25年度 比増加からR1年度比増加に変更 した。	順調	現代の若者の悩みやトラブル は複合化・複雑化しており、不 安定な雇用やニート(若年無業 者)、ひきこもりなどに対応す るためには、従来の個別分野に おける対応では限界がある。 若者が自立できるまで、継続 性のある有効な支援を行って いくため、教育、福祉、保健・医 療、矯正・更生保護、雇用等の 関連機関・団体が連携し、若者 を総合的にサポートする環境づ くりを行うとともに、子どもに 寄り添った支援に取り組む。 また、警察や保護司会、協力 雇用主会等、関係機関・団体と の連携を図り、非行相談や、家 庭環境等に問題を抱える青少年 の居場所づくり、非行歴のある 青少年の就労支援等、地域の理 解を深め、非行からの立ち直り を支えるための取り組みを推進 する。
								実績	2,561										係長	0.25				
								達成率	88.4	%									職員	0.25				
34	④	④ ⑧	不登校状態の子ど もに寄り添った次 への一歩応援事業	青少年 課	不登校状態にある中 学 生を対象に、卒業後に孤 立することがないよう、 訪問支援等を通じて一人 ひとりに寄り添った伴走 型支援を行う。	伴走支援を行った結 果、改善が見られた 人数 ※中期目標改訂	R1年度値 を設定 (参考: H30年度 9人)	目標	前年度 (5人) 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)	拡大	5,000	10,000	増額	5,525	課長	0.10	大変 順調	事業周知、学校と少年支援室 とのさらなる連携を積極的に実 施していく必要がある。 不登校状態の子どもをもつ保 護者への支援について、市の取 組みを検討するとともに、保 護者同士のネットワークや民間 支援などの社会資源の把握に努 める。 事業費については、不登校児 童が増加しているため、支援対 象人数の増を見込み、昨年度比 増となった。 【中期目標の変更内容】 「元気発進!子どもプラン(第3 次計画)【R2~6】」策定に伴う 時点更新を行い、目標をH28年度 比増加からR1年度比増加に変更 した。			
							実績	9										係長	0.25					
							達成率	225.0	%									職員	0.25					
35	④	④ ⑧ ⑩	子ども・若者応援 センター「YELL」 の運営	青少年 課	不安定な雇用やニート (若年無業者)、不登校 やひきこもり等、雇用情 勢の悪化や経済的格差の 拡大、家族や周囲との円 滑なコミュニケーション の欠如などにより、将来 を見通せない不安の中 で、社会生活を円滑に営 む上で困難を抱えている 子ども・若者が増加して いる。 そのため、困難を抱え る子どもや若者を総合的 にサポート(コーディネ ーター)していく総合相 談窓口『子ども・若者 応援センター「YELL」』 において、自立を支援す る。	「YELL」来所相談者 の就業等実績(累計 数) ※中期目標改訂	R1年度値 を設定 (参考: H30年度 437人)	目標	450	500	550	750人 (R6年度)	継続	24,033	24,035	維持	3,775	課長	0.10	順調	相談者の状況に応じて、適切 な時期に的確な支援機関につな ぎ、相談者がより一層円滑に支 援が受けられるようにする。 自立度に合わせた体験プログ ラムの充実が課題であり、内容 の見直しのほか、連携先の開 拓、新規メニューの開発など、 関係機関ともさらに連携して研 究に取り組む。 【中期目標の変更内容】 「元気発進!子どもプラン(第3 次計画)【R2~6】」策定に伴 い、目標を500人(R1年度)から 750人(R6年度)に変更した。			
							実績	437										係長	0.15					
							達成率	97.1	%									職員	0.15					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度	R2年度	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度		中期 目標	予算額 （千円）		予算額 （千円）	金額 （千円）	職位				
	36	④	④ ⑪ ⑰	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	<p>「Ⅰ 非行防止対策」「Ⅱ 非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ 薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ 地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。</p> <p>少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）</p> <p>※中期目標改訂</p>	R1年度値を設定 （参考：H30年度3.8人）	目標 前年 (5.4人) 比減少	前年比 減少	前年比 減少	R1年度比 減少 (R6年度)	継続	35,837	33,984	減額	27,450	課長 1.30 人	順調	<p>青少年を取り巻く環境が複雑化・深刻化する一方で、地域の繋がりが希薄になり、地域活動や青少年の非行防止に取り組む方々の高齢化や減少が危惧される。</p> <p>よって、今後の事業の実施には、関係機関・団体等とより一層の連携を図り、事業の効率化を進めることが必要である。</p> <p>「はいかい防止声かけネットワーク」の取り組みを強化し、より一層、市民に根ざした活動としていく。</p> <p>【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3次計画）【R2～6】」策定に伴う時点更新を行い、非行者率の目標（7.0人【R1年度】）をR1年度比減少に、登録業者数の目標（H25年度比増加）をR1年度比増加に変更した。</p>			
						北九州市協力雇用主登録業者数	R1年度値を設定 （参考：H30年度234社）	目標 前年度 (208社) 比同水準	前年度比 同水準	前年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)					係長 0.50 人						
								実績 3.8 人	達成率 129.6 %								職員 1.00 人					
II-1-(3)- ⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	37	④	④ ⑪ ⑰	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	<p>「Ⅰ 非行防止対策」「Ⅱ 非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ 薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ 地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。</p> <p>少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）</p> <p>※中期目標改訂</p>	R1年度値を設定 （参考：H30年度3.8人）	目標 前年 (5.4人) 比減少	前年比 減少	前年比 減少	R1年度比 減少 (R6年度)	継続	35,837	33,984	減額	27,450	課長 1.30 人	順調	<p>青少年を取り巻く環境が複雑化・深刻化する一方で、地域の繋がりが希薄になり、地域活動や青少年の非行防止に取り組む方々の高齢化や減少が危惧される。</p> <p>よって、今後の事業の実施には、関係機関・団体等とより一層の連携を図り、事業の効率化を進めることが必要である。</p> <p>「はいかい防止声かけネットワーク」の取り組みを強化し、より一層、市民に根ざした活動としていく。</p> <p>【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3次計画）【R2～6】」策定に伴う時点更新を行い、非行者率の目標（7.0人【R1年度】）をR1年度比減少に、登録業者数の目標（H25年度比増加）をR1年度比増加に変更した。</p>			
						北九州市協力雇用主登録業者数	R1年度値を設定 （参考：H30年度234社）	目標 前年度 (208社) 比同水準	前年度比 同水準	前年度比 増加	R1年度比 増加 (R6年度)					係長 0.50 人						
								実績 3.8 人	達成率 129.6 %								職員 1.00 人					
								実績 234 社	達成率 112.5 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善															
施策番号・施策名	No.	SDGs 主なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	R1年度 予算額 (千円)	R2年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 (評価に対する改善方法等)			
							指標名等	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
II-3-(1)-④ 子どもの尊重	38	⑬	⑬	児童虐待防止 (子どもの人権擁護) 推進事業	子ども総合センター	児童虐待の早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護を行うため、関係機関との連携強化を図り、児童虐待の防止等のために必要な体制を整備するとともに、関係機関等の職員の研修を行う。	児童虐待対応件数 ※「現状値」及び「中期目標」は「元気発進!子どもプラン(第2次計画)【H27~R1年度】」掲載内容 ※指標廃止	目標	前年度 (1,139件) 比減少	前年度比 減少		H25年度 比減少 (R1年度)	継続	22,789	28,011	増額	76,500	課長	1.00	順調	児童虐待対応件数の増加に対応するため、関係機関等との連携をさらに強化するとともに、NPO法人等への業務委託により、児童虐待の未然防止と早期発見、迅速かつ適切な保護を図る。また、虐待を受けた子どもの心のケアや、児童虐待の再発防止対策を引き続き強化する。	局施策 評価	児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応に努めてきたところであるが、全国的に子どもの命を脅かすような重篤な事案が頻りに報道されている中で、児童虐待による死亡事案を発生させないという本来の目標を明示することが必要と考え、指標を変更。		
								実績	1,487 件									0 件 (毎年度)	職員					6.00	6.00
								達成率	69.4 %																
						児童虐待による死亡事案の発生件数 ※指標追加	R1年度値を設定 (参考:平成30年度 1件)	目標																	
	39	⑬	⑬	児童虐待防止医療ネットワーク事業	子育て支援課	児童虐待の早期発見、早期対応につなげるため、中核的な小児救急病院等に児童虐待コーディネーターを配置し、地域の医療機関から児童虐待対応に関する相談への助言を行うなど、医療機関を中心としたネットワークを構築し、児童虐待対応への必要な体制整備を行う。	児童虐待相談対応件数のうち、「医療機関」からの件数 ※中期目標改訂	目標	前年度 (46件) 比増加	前年度比 増加	前年度水準を維持	R1年度値を維持 (R6年度)	継続	5,866	6,001	維持	2,240	課長	0.01	順調	拠点病院を中心に更なるネットワークの強化を図る。 【中期目標の変更内容】 目標をH25年度(15件)比増加としていたが、現状に合わせて指標の再検討を行った結果、「子どもを虐待から守る条例」の施行にともない、虐待の未然防止にも積極的に取り組んでいることから、対応件数をもって事業を評価するという方向性を改めることとしたため、相談件数の増加ではなく、今後は維持を目標とすることとなった。	局施策 評価	事業の実施にあたっては、計画的な研修を通じ、相談員の資質向上を図るなど効率的な運営を行う。		
実績	47 件			0.15	0.15																				
達成率	102.2 %																								
	40	⑬	⑬	子ども・家庭相談コーナー運営事業	子育て支援課	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、ひとり親家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげる。	児童虐待対応件数 ※中期目標改訂	目標	前年度 (1,139) 比減少	前年度比 減少	前年度比 減少	R1年度値を減少 (R6年度)	継続	98,769	100,123	維持	6,075	課長	0.05	順調	児童虐待に関する相談は増加傾向 (H29:1,479件→H30:1,804件)にあり、令和元年度から増員した相談員について、令和2年度も引き続き配置し、虐待への相談や、迅速かつ適切な支援が行える体制の維持を図る。 【中期目標の変更内容】 「元気発進!子どもプラン(第3次計画)【R2~6】」策定に伴う時点更新を行い、目標をH25年度比減少からR1年度比減少に変更した。	局施策 評価			
実績	1,487 件			0.60	0.60																				
達成率	69.4 %																								

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R1年度 予算額 （千円）	R2年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H30年度 事業 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	H30年度 局施策 評価	R2年度に向けて 強化・見直した内容 （評価に対する改善方法等）	
							指標名等	現状値 （基準値）	H30年度	R1年度	R2年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
IV-3-(2)- ② 女性が活躍する産 業都市づくりの推 進	41	③	④ ⑧	特別保育事業補助	保育 課	保護者の就労形態の多 様化等に対応するため、 保育所の保育時間を午後 7時もしくは8時まで延 長する「延長保育」の充 実を図る。また、保護者 のパート就労や育児リフ レッシュ等の理由によ り、一時的に家庭での保 育が困難となる児童を保 育所において保育する 「一時保育」の充実を図 る。さらに、保育所の通 常保育に加え、延長保育 や一時保育においても、 集団保育の可能な障害 のある児童の受け入れを 行う「障害児保育」の充 実を図る。	午後8時まで延長保 育を実施する保育所 の施設数 ※中期目標改訂	R1年度値を 設定 （参考： H30年度 2箇所）	目標 2 箇所	3 箇所	2 箇所	R1年度 水準を 維持 （R6年度）	継続	728,926	725,638	維持	3,650	課長	0.10	順調	保護者の就労形態の多様化等 に対応するため、「北九州市子 ども・子育て支援事業計画」に 基づき、事業を継続する。 【中期目標の変更内容】 「元気発進！子どもプラン（第3 次計画）【R2～6】」における 「北九州市子ども・子育て支援 事業計画」に基づき見直しを行 い、午後8時まで延長保育を実施 する施設数（3箇所【R1年 度】）、午後7時まで延長保育を 実施する施設数（158箇所【R1年 度】）及び一時保育事業の実施 施設数（86箇所【R1年度】）に ついても、人口の増減により、延 べ利用児童数が増減するとの考 え方から、中期目標をR1年度水 準を維持に変更。	順調	子どもの生活リズムに十分配 慮しながら、幼稚園における預 かり保育や保育所における延長 保育、休日保育など、多様な ニーズに対応した保育サービス の充実を図る。
							午後7時まで延長保 育を実施する施設数 ※中期目標改訂	R1年度値を 設定 （参考： H30年度 154箇所）	目標 156 箇所	158 箇所	153 箇所	R1年度 水準を 維持 （R6年度）						係長	0.10				
							一時保育事業の実施 施設数 ※中期目標改訂	R1年度値を 設定 （参考： H30年度 83箇所）	目標 84 箇所	86 箇所	82 箇所	R1年度 水準を 維持 （R6年度）						職員	0.20				